

# 危険物新聞

第417号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会  
編集人 松村光惟  
発行人

大阪市西区新町1丁目5-7  
四つ橋ビル  
TEL (531) 9717・5910  
定価 1部 60円

### 休日コースは電話予約

休日コース(100名)については定員が少ない関係上、いつもの様に電話予約による受付を行っている。希望者は電話(06-531-9717)で予約されたい。満席になり次第締切りとなるので念のため。

## 63年度 第3回危険物取扱者試験 12月11日(日) 大阪府大で

消防試験研究センター大阪府支部では、第2回危険物取扱者試験(10月10日実施)の願書受付を9月5、6日で終了したが、引き続き第3回危険物取扱者試験を次のとおり実施する。

- ▷試験日 12月11日(日)
  - 午前 乙種4類
  - 午後 甲種、4類以外の乙種、丙種
- ▷試験会場 大阪府立大学(堺市)
- ▷願書受付 11月17日(木)、18日(金)
- ▷受付場所 大阪府職員会館

なお、次回第4回試験は、64年2月中旬頃に行なわれる予定。

### 受験準備講習は甲種、乙種1~6類、丙種

受験準備講習は、甲種、乙種1~6類及び丙種について、大阪、堺、茨木、泉佐野会場で別掲のとおり行なわれる。

また、準備講習受付は11月4日より府下8会場で行なわれる。

## 63年度(下期) 保安講習

大阪府主催の昭和63年度(下期)危険物取扱者保安講習会が次のとおり行なわれることになった。

受講希望者は早急に所定の往復ハガキ申込書(各消防署で配布)を送付されたい。

### 受講手続きの手順

- 1 受講申込書(所定の往復ハガキで郵送) 本人→協会
- 2 受講受付日・受講日決定通知(返信ハガキ)協会→本人
- 3 受講申請
  - (1) 受付指定日に指定場所で受講申請書(返信ハガキ)に4,000円の大阪府証紙(受講手数料)を貼付して申請のこと。(証紙は受付場所で発売)



# ハイテクテク。

常に防災の歴史とともに歩みつつは、さらに未来に向かってハイテク防災空間を拡げつつあるヤマト。防災のトータルプランナーとして、確実に前進をしています。

消火装置
消火器
警報装置
避難設備
各種防災機器

● 防災のトータルプランナー

## YAMATO

ヤマト消防器株式会社

■ 本社 千537 大阪市東成区深江1-7-11 TEL.(06)976-0701(代)

■ 東京本社 千108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)446-7511(代)

SINCE 1918

(2) 受講票とテキストを交付

4 受講

講習当日、受講票、免状及びテキストを持参し、所定の講習3時間を受講すると、免状に受講済印を押し交付。

保安講習63年度実施予定表

〔回数〕	〔実施日〕	〔会場〕	〔区分〕
01	9月22日	臨海センター	(コンビナート)
02	9月29日	同 上	(同 上)
03	10月6日	堺市民会館	(給油所)
04	10月7日	臨海センター	(コンビナート)
05	10月12日	岸和田鉄工金属団地会館	(給油所)
06	10月14日	臨海センター	(コンビナート)
07	10月19日	守口文化センター	
08	10月20日	臨海センター(夜)	(ローリー)
09	10月21日	大阪商工会館	(給油所)
020	10月26日	同 上	
021	10月27日	大東市総合文化センター	(給油所)
022	11月2日	高槻市消防本部	
023	11月11日	臨海センター	(コンビナート)
024	2月2日	堺市民会館	
025	2月15日	大阪商工会館(午前)	(化 学)
026	2月15日	同 上	(午後)(同 上)
027	2月16日	同 上	
028	2月17日	同 上	
029	2月21日	茨木商工会館	
030	2月22日	枚方農協会館	
031	2月23日	(布施)弘容ビル	
032	2月24日	豊中市市民会館	
033	2月27日	大阪商工会館	

(注) 区分に明記していないのは「その他一般」

62年5月より保安講習受講周期短縮される  
5年から3年に

自治省消防庁では、昭和62年3月31日付で「危険物の規制に関する政令」、4月20日付で「危険物の規制に関する省令」の一部改正を行った。その結果、62年5月1日より受講周期が5年から3年に短縮された。

経過措置等は、次のとおりである。

- ① 5月1日よりも前に危険物取扱作業に従事した者の受講期限は、従事した日から1年以内で、ただし、従事した日から4年以内に免状の交付を受けている場合は、交付より5年以内に受講すること。
- ② 5月1日よりも前に保安講習を受講している者は、受講日より5年以内に受講しなければならない。
- ③ 5月1日以降に危険物取扱作業に従事した者の受講期限は、従事した日から1年以内で、ただし、従事した日から2年以内に免状の交付を受けている者は、交付日より3年以内に受講しなければならない。
- ④ 5月1日以降に講習会を受講した者で継続して危険物取扱作業に従事している場合は、3年以内ごとにこの講習を受講しなければならない。


危険物設備の設計・施工  
保安点検・検査

設備の安全を創造する

新栄プラント建設株式会社


本社 大阪市南区南船場2丁目7番14号  
〒542 (大阪写真会館)  
電話 大阪(06)・271-5588(代)

●消火器




シームレックス  
●中性強化液消火器

●家庭用防災用品




天ぷら油  
火災警報器  
●てきおんくん  
台所用簡易  
自動消火装置  
●キッチン  
エース

●自動消火器



パッケージ型  
自動消火システム  
●アミュレイ  
フルオート消火システム  
●キャビネックス



**防災商品**  
**ア・ラ・カル・ト**

—ご家庭から産業界まで幅広く活躍—

消火器・消火装置の総合メーカー

株式会社 **初田製作所**

本社工場/大阪府枚方市招提田近3-5 〒573 TEL(0720)56-1281(代)  
大阪支社  
〒555 大阪市西淀川区千舟1丁目5番47号 ☎(06) 473-4870

## 全危協の動き

財団法人全国危険物安全協会は、全危連を母体とする公益法人としてこの春設立され、公益事業を推進しているが初年度の昭和63年度は、予算 2 億2650 万円で次のような事業を行っている。

### ① 地下タンク等定期点検技術者講習

消防庁通達に基づく地下タンク、埋設配管定期点検制度を推進するため、点検技術者講習の開催、点検事業者認定業務、点検済ラベルの交付等を行う。

点検技術者初回講習は、4 月、東京会場を皮切りに、8 月24日までに全国で延28回実施し、受講者は当初予想数を大きく上廻り2,415名が講習終了証の交付をうけた。大阪でも 6 月、8 月に 4 会場で実施し、372 名が受講を終了した。

なお更に希望者が相当あるので、9 月から12月にかけて、北海道、宮城、新潟、東京、大阪、三重、広島、愛媛、福岡、熊本で開催される。点検事業所認定は、講習受講希望者の受講終了をまって行われる予定で、当初計画より認定申請受付が延期されている。

### ② 保安功労者の表彰

危険物安全思想の普及をはかるため、保安功労者の表彰を行うが、今年も 6 月14日の63年度安全大会で53名の方が理事長表彰を受けた。

また、消防庁長官の危険物保安功労者表彰の上申も行い、6 月 7 日16名、5 団体が長官より表彰された。



### ③ 危険物取扱者保安講習についての援助、協力

危険物取扱者の法定講習の民間委託を円滑かつ適正に推進するため、保安講習検討委員会（本会松村専務理事も委員として参画）を設け、9 月14日第 4 回委員会を開催して報告書をまとめた。

8 月現在、保安講習を16の都道府県が受託（大阪府危協は全国で初めて、昭和48年から受託している。）しているが残りの県危連も大半が受託を予定しているので、全危協は受託について、また、法人化についての指導、協力を積極的に行うことになる。

また、テキストは今春、消防庁の監修を受けて 3 部作を発行し、今後視聴覚教材の製作、あっせん等もする計画である。



暮らしに安心と安全をお届けする

屋内外消火栓設備  
スプリンクラー設備  
ドレンチャー設備  
泡消火設備  
ガス消火設備  
粉末消火設備  
自動火災報知設備  
避難設備

創業30年の実績と経験で信頼いただく  
防災のことならサンワにお任せください

あらゆる消防設備・設計・施工・保守・点検

株式会社 三和商会

本社 大阪市西区京町堀 2 丁目 1 番 17 号  
〒 550 電話 (06) 443-2456 (代)  
平野営業所 大阪市平野区長吉出戸 2 丁目 4 番 6 号  
〒 547 電話 (06) 707-3341



④ 予備講習のテキスト類の発行

危険物取扱者の資格取得を啓発促進し、受験者の効率のよい知識習得をはかるため、各種テキスト、例題集を発行している。(本会もこれを採用し使用している)

⑤ その他

防災法令の普及、啓発の目的で、ポスターの作成配布が行われ、近く「家庭の中の危険物」という小冊子が刊行される予定である。

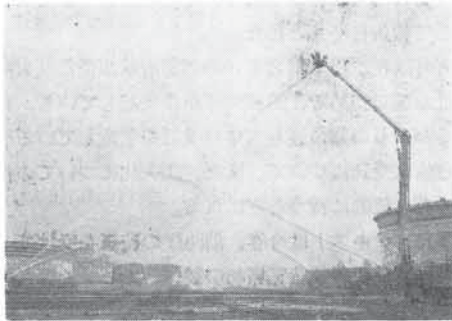
堺・高石で危険物安全大会

防災講演や石油タンク消火訓練など

堺市高石市消防組合消防本部では、第6回危険物安全大会を、8月23日午後、高石市市民会館で開催した。

大会は関係者約350名が出席して、優良危険物関係事業所等の表彰、安全宣言が行われた。引き続き、人間関係研究所所長有吉実先生の「明るい職場づくりと活気ある人間関係づくり」の講演があった。

また、8月25日には、堺市のコスモ石油で、流出油処理訓練、模擬石油タンク消火訓練、ガス漏洩防除訓練等が実施された。



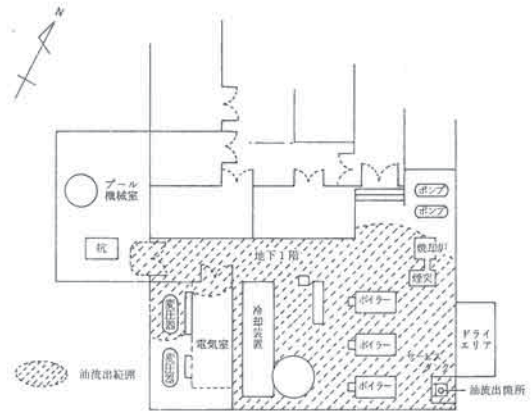
危険物施設の事故例

油取扱所のモデルチェンジ  
工事中的出火

昭和62年5月、東京都内の給油取扱所において、変更工事の作業中出火、作業をしていた溶接工が左足を骨折する事故が発生した。

〔事故の概要〕

この営業用給油取扱所はいわゆるノンスペース方式を採用している。工事内容は施設のモデルチェンジの目的でデリバリーユニット(ホースリールユニット)の交換



現場見取図

空調設備機器製造・販売

- オイルタンク用液面計
- 遠隔式警報ユニット液面計
- 各種液体タンク用液面計
- フロートスイッチ・微圧スイッチ
- タンク部品一式

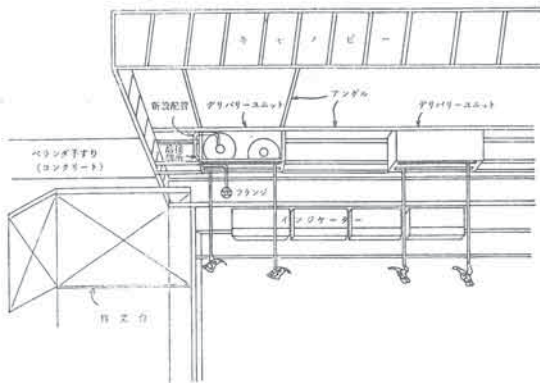
独自の技術により、正確・安全  
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8



デリバリーユニット及び配管施工図

と配管の一部新設工事が行われていた。上屋下面に取付けたユニットの配管と既設配管を結合しようとしたが、フランジ結合部にズレがあることがわかり、一旦、取外してガス溶断器で配管の曲り部分を溶かし、曲り具合を修正した後、再び新規配管を取付け、新規配管を既設配管とフランジにより結合したまま、先程の修正した配管を電気溶接器で補修溶接中に、突然デリバリーユニットから大きく炎が吹き出した。これに驚いた溶接工が高さ 2 m50cm の作業台から飛び降り、左足を骨折した。

これは、新規配管を既設配管と接合した状態で溶接を行ったため、既設配管内に残留していたガソリンペーパーが新規配管内に流入し、溶接火花により引火したものである。

〔問題点及び対策〕

- ① 火気を使用する工事に際しては、既設配管から可燃性ペーパーの漏洩に十分注意し、必要に応じて閉止板の取付けやバルブの閉止を確実に実施する必要がある。

- ② 既設配管を使用して工事を行う場合は、長時間エア一抜きを行っても、可燃性ペーパーが残留することがあるので、ガス濃度測定器等を活用して安全を確保する必要がある。
- ③ 工事部分と仮使用部分を適切に区画し、工事に係る部分への可燃性ペーパー等の流入を遮断する措置が必要である。
- ④ その他

(財全国危険物安全協会提供)

◇ボイラー室サービスタンクより重油 2000 ℓ 流出

昭和62年10月、東京都内のボイラー室サービスタンクより重油20,00 ℓが流出する事故が発生した。

〔事故の概要〕

この建物は耐火造5階建てのマンションで、10kℓの重油地下タンクから地下1階のボイラー室のサービスタンクへ送油されている。事故当日、17時頃ビル管理会社の従業員(男54歳)はボイラー運転中サービスタンクの油量を調べたところ、残量が少なかつたことからギャポンプのスイッチを手動で入れた。その後従業員は給油中であることを忘れて、夕食をとるために外出してしまった。このため、ギャポンプが継続して運転され、サービスタンクの上蓋の隙間から重油2,000 ℓが溢れ出し、ボイラー室内の床に広く流出させた。

流出時、ボイラーは運転中であり、発見が遅ければ火が発生し、大きな被害が発生するおそれがあった。また、ギャポンプは出動した消防隊員が電源を切るまで可動していた。

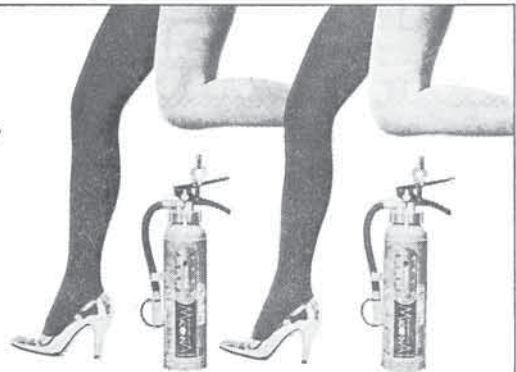
このサービスタンクは2ヶ月程前にフロートスイッチ

安全が見える窓つき またひとつ超えました。



●●● 島田ポンプ株式会社

本 社 / 〒544 大阪市生野区小路東5-5-20 TEL(06)751-1351(代)  
 営業所 / 東 京・大 阪・名古屋・仙 台・福 岡・高 崎  
 静 岡・富 山・広 島・松 山・札 幌・旭 川



と液面計が故障し、正常に作動しなくなったままで、これを修理せず継続してボイラーを運転していた。

〔問題点及び対策〕

- ① 関係者は施設に不備欠陥箇所がないかどうか定期的に点検を実施する必要がある。
- ② 液面計やフロートスイッチの故障は過剰注入や流出

等の事故に結びつくおそれが大きいことから、速やかに修理し機能の保全を図っておく必要がある。

- ③ 小さな故障でも大事故に結びつく原因になることが多いことから、故障が起きた場合は応急措置後は正常運転できるよう徹底して修理する必要がある。
- ④ その他

(財)全国危険物安全協会提供

—地下タンク等点検制度—

技術者講習、秋に大阪で

地下タンク、埋設配管等の定期点検については、消防庁の消防危第21号(63.2.23)で「地下タンク及び地下埋設配管の定期点検の指導指針」が通達され、(財)全国危険物安全協会が去る4月1日から、次の事業を実施することになった。

- ① 点検従事者の講習及び講習終了証の交付
- ② 点検事業者の認定
- ③ 点検ラベルの交付

点検技術者講習は、4月5日から東京都で第1回を開催、8月福岡県での第29回まで延2,427人が受講し、2,415人が講習終了証の交付を受けた。(12名不合格)

受講希望者が全国的にまだ相当見込まれるので、全危協では9月に、札幌、東京、新潟で、10月に、仙台、大阪、四日市、松山で、11月、12月に、広島、熊本、東京で実施する予定。

10月11,12日と13,14日

大阪市消防学校で2回実施

大阪会場は次の日程で2回実施される。申込は9月30日まで郵送受付で、定員制につき満席の節は他の会場で受講することになる。

- ・37回 10月11日、12日 大阪市消防学校
  - ・38回 10月13日、14日 同上
  - ・申請先 (財)大阪府危険物安全協会
- (注) 申請書 etc 希望の節は、返信切手貼付の封筒同封の上、下記住所まで請求されたい。
- 〒550 大阪市西区新町1-5-7 四ツ橋ビル内  
(財)大阪府危険物安全協会  
地下タンク等点検資格者講習会係

なお、事業所認定業務は、当初計画より遅れ初回講習受講者が多いため全国的に一通り希望者の受講終了をまっ、認定申請の受付が行われる予定で、今のところ決まっていないが、諸般の事情から、早くて年内に、或いは64年早々ぐらいと推測される。

消防点検は…マルナカ



マルナカは、社会に「安心」を提供する防災のプロフェッショナルです。

大阪本社 〒530 大阪市北区中崎西4丁目2番27号 TEL (06)371-7775(代)

東京本社 〒113 東京都文京区本駒込5丁目73番5号 TEL (03)944-0161(代)

神戸マルナカ 〒653 神戸市長田区東尻池町3丁目4番19号 TEL(078)681-5771(代)



## 第 9 回 論 文 募 集 (締切 63年12月20日まで)

### 「危険物の安全管理について」

第 9 回表記懸賞論文を下記のとおり募集しますのでご応募下さい。

1. 応募資格 府下事業所に勤務する者
2. 募集部門と内容
  - 第 1 部 (製造、取扱い部門) 化学工場等の危険物製造、取扱い部門における防災管理、企業内共同研究、事故体験記録等について
  - 第 2 部 (貯蔵、流通、販売部門) 油槽所、営業危険物倉庫の大量貯蔵部門、タンクローリー等輸送部門、又はガソリンスタンド等の販売部門における安全管理、事故防止対策、事故体験記録等について
  - 第 3 部 (その他) 一般事業所等における危険物の安全管理、事故体験記録等について

※各部とも400字詰原稿用紙(横書き) 10~15枚程度

3. 送り先 大阪市西区新町1-5-7 四つ橋ビル ㈱大阪府危険物安全協会
4. 切 昭和63年12月20日
5. 発表 昭和64年2月末日
6. 表彰 優秀賞 1編(賞状と副賞5万円)

各部門の優良作品の中より選出し、該当者は部門優良賞の副賞と重複はしない。

優良賞 各部門ごと1編(賞状と副賞3万円)

佳作 各部門ごと若干(賞状と副賞1万円)

なお、優秀賞、優良賞に該当作品が無い場合は、各部門の優良賞、佳作入選を増やすことがあります。(その他応募者には記念品を贈呈いたします。)

7. その他 入賞作品の著作権は本会に帰属し、作品は返却しません。

# 危険物取扱者養成講習ご案内

昭和63年度第3回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

## 1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	11月21日(月)、11月25日(金) 11月30日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種第4類	1期 11月24日(木)、12月1日(木)	9時30分～16時	大阪府商工会館
	2期 11月14日(月)、11月16日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館
	3期 11月15日(火)、11月16日(水)	10時～16時30分	堺市立勤労会館 (高野線堺東駅ヨリ13分 阪堺線宿院駅ヨリ6分)
	4期 11月21日(月)、11月22日(火)	9時30分～16時	茨木市商工会館 (茨木駅ヨリ約13分)
	5期 11月14日(月)、11月17日(木)	10時～16時30分	泉佐野市消防本部講堂 (市役所前バス停、駐車場アリ)
	休日コース 11月23日(祭)、11月27日(日) 12月4日(日)	9時30分～16時	大阪府中小企業文化会館 (地下鉄谷九駅南へ約5分)
丙種	12月5日(月)	9時30分～16時	大阪府商工会館

## 2. 受付期間と場所

受付場所	日	時
泉佐野市消防本部内	泉佐野市火災予防協会	11月4日(金) 午前10:00～11:30
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会	11月4日(金) 午後2:00～4:00
堺市消防署内(阪堺線・大小路駅前)	堺防災協会	11月7日(月) 午後2:00～4:00
豊中市消防本部内(阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会	11月8日(火) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内	茨木市災害予防協会	11月8日(火) 午後2:00～4:00
東大阪市西消防署内(近鉄・小坂駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会	11月9日(水) 午前10:00～11:30
(地下鉄・守口駅前)	守口消防署	11月9日(水) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階(地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	財大阪府危険物安全協会	11月11日(金) 午後1:00～4:00

## 3. 休日コースの申込方法

休日(定員100名)コースは電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

## 4. 受講会費(会費には、各テキスト代を含みます)テキスト不要の場合は甲種は3,000円、乙種は2,000円減額。

種別	会員	会員外	備考
甲種	13,000円	16,000円	
乙種	9,000円	11,000円	
日曜コース	14,000円	16,000円	もぎテスト実施
丙種	4,000円	5,000円	

注) 乙種1.2.3.5.6類受講者は、2種類以上の場合、各2000円増。また、科目免除者はテキストなしで、1種類につき1000円。